



## 日本フネン株式会社 代表取締役 久米 徳男

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、ものづくりを通じて社会に安全と安らぎを提供することにより、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	環境配慮型・災害対応型製品の提供	持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・災害対応型製品の提供を推進します。	① (1) 環境・災害に対応した製品の生産割合向上 (2) 製品原材料や付属品等におけるサステイナブル製品採用を検討		
			② (1) 2030年までに当社全体の製品のうち、環境対応製品の生産割合を70%以上 災害対応製品の生産割合を90%以上 (2) 2030年までにサステイナブル製品の採用を検討し、可能なものより順次導入		
社会・経済	女性活躍の推進を含む多様性の確保	あらゆる経験・技能を反映した多様な視点や価値観による仕事上の機会を得ることができる職場を目指し、女性社員を含めた社員の技術向上やキャリアアップを支援します。	① 社外研修及び社内外講師による研修実施		
			② 年5回以上研修セミナーを実施		
経済	経営理念・目標の発信、浸透	経営層が自社の事業方針について社員一人ひとりに浸透するように、主体的に努めます。	① (1) 理念浸透に繋がる社内研修の実施 (2) 「共感経営」(社内冊子)の浸透		
			② (1) 年3回以上研修を実施 (2) 5年に1回「共感経営」改版の実施		
社会・経済	顧客ニーズや課題の把握・改善	ステークホルダの意見やニーズを積極的に収集し、スパイラルアップする経営を目指します。	① 顧客満足度調査を実施し、顧客の声を取り入れた製品開発・経営を実践		
			② 年1回以上満足度調査を実施		

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



#### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。